

演奏する曲に、思い入れやイメージを強く持って表現しようとする姿勢が素晴らしいと思いました。時には、表現する気持ちが先行して、思わぬところでミスをしてしまった人もいたかもしれませんが、ミスを恐れなくて積極的な演奏を心がけることは表現者として一番大切なことですので、この姿勢はこれから先もずっと忘れないでいてほしいと思います。

一方で表現したい気持ちはすごくあるのに、指が思うように動かないという人も見受けられました。気持ちと指の動きとのジレンマは地道な指トレで克服するしかありませんが、頑張っって練習して思いどおりに指が動かせるようになった時には、自分の気持ちを自由に表現できる手段を得ることができ、大きな大きな喜びが得られますのでそれを楽しみに頑張っって取り組んでください。

細かいところでは、下記のようなことが気になりましたので、今後の参考にしてみてください。

- ・緊張のためにふだんしないミスをしてしまったと思われるケースが見受けられましたが、これはほとんどの場合「場慣れ」によって克服できます。色々な機会を利用して大きなホール、大きなピアノで演奏することに慣れていきましょう。
- ・メロディーの一つ一つの音を大切に演奏する気持ちはとても大切ですが、メロディーの大きなまとまり（＝フレーズ）を意識しないと、演奏が重くなってしまいます。「フレーズ」を意識した演奏を心がけましょう。
- ・メロディーと伴奏の音量のバランスですが、大きなピアノは中音域、低音域の音がよく響きますので、それに釣り合うようにメロディーをくっきりと浮き立たせて響かせるようにしましょう。

今回のコンクールでは皆様の豊かな音楽性や大きな可能性に触れることができ、とてもうれしく思いました。今後の成長を楽しみにしております！

飯田真樹先生